

スター保険 第 8 回スター倶楽部定例会開催 今年の販売注力商品、堅調な業績報告

スター保険は 1 月 30 日、第 8 回スター倶楽部の定例会を開催した。今回も新型コロナウイルス感染拡大の状況に配慮し、オンラインでの開催となった。中澤良平 CEO は今年、会社役員賠償責任保険（D & O 保険）と雇用慣行賠償保険のセット商品「スター・マネジメント・ライアビリティ」を筆頭に、CGL 保険、海外 PL 保険、マリン保険の販売に注力していきたいと述べ、それに先駆けて 1 月 17 日に大阪、同 18 日に福岡でマリン保険ならびに海外 PL 保険のセミナーを開催したことを報告した。また、業績も堅調に推移しているとし、昨年開設した大阪、福岡の 2 支店に続き、今年度中に名古屋支店の開設を目指していることも発表した。定例会の終盤には「スター・マネジメント・ライアビリティ」の販売促進について議論する場が設けられ、スター倶楽部の会長を務める根本雅之氏（㈱ビジコンネクスト社長）の司会進行の下、現状の課題やソリューションについて意見が交わされた。当日は 18 の代理店、合計 31 人が参加した。



中澤 CEO

定例会の冒頭では、根本保険コンサルとしての根本氏があいさつし、D & O 保険の理解を深めれば、

「本日は D & O 保険の拡販について、現場の声を踏まえながらディスカッションさせていただ

主力 D & O 保険商品の販促を検討

きたい」と宣言した。次に中澤 CEO が登壇し、昨年 10 月に業務災害包括補償保険の疾病補償の 2 特約の販売を見合わせる

ことになった件について謝罪し、続けて、2023 年においては D & O 保険と雇用慣行賠償保険のセット商品「スター・マネジメント・ライアビリティ」を筆頭に、C

GL 保険、海外 PL 保険、マリン保険の販売に特に注力していきたいと発表した。同社では 1 月 17 日に大阪、同 18 日に福岡でマリ

ン保険ならびに海外 PL 保険のセミナーを開催。両日で合計 60 人を超える代理店・フローカー関係者が参加し、「マリ

ン保険」の拡販を検討していることも併せて発表された。定例会の終盤には、根本氏の司会進行の下、「スター・マネジメント・ライアビリティ」の販



ディスカッションの様相。
中澤 CEO（中央）と根本会長（右）

の関心の高さがうかがえた」と手応えを示した。また、スターグループの近況について、昨年度末の速報では収入保険料が 1 兆 2000 億円を超え、総資産も 4 兆円を超える勢いで、順調に成長していると報告した。スタージャパンについても、19 年に「企業・プロカービネス分野」のセグメントを「中小企業分野」に追加以降、4 年間で 232% の成長を遂げたとし、今後もさらなる飛躍を計画していることを示した。

売促進に関するディスカッションが行われた。ディスカッションでは、同商品に関して「本定例会で話題に挙がることが多いので、役員レベルではある程度商品の内容を理解しているが、現状、募集人レベルでの理解度が低い」といった課題が挙がった。

これに対し根本氏は、ビジコンネクスト社員の弁護士が作成した資料を用いて、会社法における取締役の定義を示しながら、「取締役は、任務懈怠（けたい）について広く賠償責任を負うものである」と述べた上で、近年起きた「福島原発事故」などの取締役の損害賠償をめぐる事例を解説した。

その後、D & O 保険について、売り手である募集人が理解することの必要性と、中小企業でもリスクがあるゆえの加入の必要性を訴えた。最後に、中澤 CEO がディスカッションを振り返り、「皆さんのご意見は大変参考になった。この商品の補償内容をより分かりやすくしたチラシや事故事例資料を用意して、リスクの喚起とともに今後も情報提供に努め、販売支援させていた

だいたい」と総括した。